

デュアルモノーラルUSB DAC/ヘッドホンアンプ

UD-503

オープンブライス



UD-503-S
(シルバー)



UD-503-B
(ブラック)

主な仕様		
対応 ファ イル ド S	USB入力	DSD PCM 2.8M / 5.6M / 11.2MHz 32k / 44.1k / 48k / 88.2k / 96k / 176.4k / 192k / 352.8k / 384kHz、16 / 24 / 32bit
	S/PDIF入力	DSD PCM 2.8MHz (176.4kHz/24bit DoP伝送で対応) 32k / 44.1k / 48k / 88.2k / 96k / 176.4k / 192kHz、16 / 24bit
	Windows	Windows 8.1(32bit版、64bit版)、Windows 8 (32bit版、64bit版)、Windows 7 (32bit版、64bit版)
	Macintosh	Yosemite (OS X 10.10)、Mavericks (OS X 10.9)、Mountain Lion (OS X 10.8)、Lion (OS X 10.7)
オーディオ 特 性	周波数特性	5Hz ~ 80kHz
	S/N比	バランス出力 アンバランス出力 112 dB (A-weighted, 1kHz) 110 dB (A-weighted, 1kHz)
	全高調波歪率	0.0015% (1kHz, LPF: 20Hz ~ 20kHz)
	最大出力レベル	2.0 Vrms (XLR/RCA)
		4.0 Vrms (XLR/RCA)
		12.0 Vrms (XLR)、6 Vrms (RCA)
ヘッドホン 出 力	出力インピーダンス	バランス出力 アンバランス出力 188 Ω 150 Ω
	ヘッドホン駆動方式	バランス駆動、アクティブ・グラウンド駆動、パラレル・アンバランス駆動
	ジャック極性	チップ：HOT、リング：COLD、シールド：GND (2個1組で使用) チップ：HOT、リング：COLD、シールド：GND (2個1組で使用)
		チップ：L、リング：R、シールド：GND (2系統のヘッドホン端子として使用可能)
	ヘッドホン出力	バランス接続時 アンバランス接続時 1系統接続時 2系統接続時 700mW + 700mw (32Ω負荷時、歪率1%) 500mW + 500mW (32Ω負荷時、歪率1%) 350mW + 350mW (32Ω x2負荷時、歪率1%)
クロ ック 入 力	対応ヘッドホン・インピーダンス	16 ~ 600 Ω
	入力周波数	10MHz
	入力インピーダンス	50 Ω
	入力レベル	短形波 サイン波 TTLレベル相当 0.5 ~ 1.0 Vrms
	デジタル入力	USB S/PDIF同軸 S/PDIF光 S/PDIF同軸/光 (フロント側) USB B端子 x 1 RCAピン端子 x 1 角形光デジタル端子 x 1 3.5mmミニ/光ミニ端子 x 1(兼用端子)
入 出 力 端 子	アナログ入力	アンバランス RCAピン端子 x 1
	外部クロック入力	短形波 / サイン波 BNC端子 x 1
	アナログ出力	バランス XLR 3-32端子 x 1 (2番HOT、または 3番HOT 切替式)
		アンバランス RCAピン端子 x 1
	ヘッドホン出力	ステレオ標準ジャック x 2
	消費電力	16W (待機時 0.4W)
総 合	外形寸法 (W x H x D)	290 x 84.5 x 248.7mm
	質量	4.2kg
付属品		RCA-ミニプラグ変換ケーブル、リモコン(RC-1319)、単4形乾電池2個、フット用クッション3個、電源コード、取扱説明書(保証書付)



	安全に関するご注意	■ 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。 ■ 水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。

本カタログ掲載商品の価格には、配送費、設置調整費、アース・工事費、使用済み商品の引き取り費用などは含まれておりません。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願い致します。弊社ではお客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。ご購入の際は、必ず「保証書」の「お買い上げ日・販売店名」等の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。当社はステレオの補修用性能部品を製造打切後8年保有しております。仕様および外観は改善のため予告無く変更することがあります。製品の色は、撮影・印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。"DSD"は登録商標です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Macintoshは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。QRコードは (株)デンソーウェーブの登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。当社は、消費者庁および公正取引委員会から認定されたルールを運用する家電公取協に加盟し、適正な表示を推進しています。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47 http://teac.jp/

製品の詳細はこちらのQRコード または AVお客様相談室へ



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内料金でご利用いただけます。

受付時間 9:30 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社休業日を除く)

PHS、IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので下記の電話番号にお掛けください。

☎ (042) 356-9235 / FAX (042) 356-9242



ティアック製品取扱店

TEAC

USB DAC/ヘッドホンアンプ UD-503



USB DAC/Headphone Amplifier



フルバランスへの誘い。

オーディオはここまで進化する。

DSD 11.2MHzネイティブ再生に対応し、クロック入力も可能。
2基のTRSヘッドホン出力端子によりフルバランス伝送を実現した
ヘッドホンユーザーの為のUSB DAC/ヘッドホンアンプ誕生。
そのスペックよりも、その音に驚いて欲しい。

DSD
Direct Stream Digital



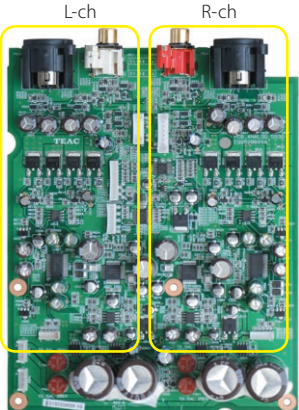
DSD 11.2MHz、PCM 384kHz/32bit対応 VERITA AK4490

DACチップには旭化成エレクトロニクス社製のDAC『VERITA AK4490』を採用。VELVET SOUNDアーキテクチャにより、可聴域を超えた音まで表現するハイレゾリユーション音源再生に相応しい、繊細な表現力を実現しました。



フルバランス対応
新たな進化を遂げたデュアルモノーラル構成

電源部やD/A変換部、アナログ出力段に至るまで一貫したデュアルモノーラル構成を採用。安定した電流供給能力が特長のトroidalコア電源トランスや高性能DAC VERITA AK4490をはじめ、それぞれのチャンネルがモノーラルで完結する回路を2系統持つデュアルモノーラル構成は、お互いの信号による干渉を極力防ぎ、特にヘッドホン・リスニングで重要となる左右各チャンネル間の影響を抑え、高性能ヘッドホンアンプとしてもお使いいただけます。さらに、バランス出力時にはそれぞれのチャンネル出力をD/A変換の直後から最終出力段まで徹底して差動処理することで、コモンモードノイズを除去。ハイレゾ音源の持つ空気感を余すことなく伝えます。



D/A変換およびアナログ出力基板

44.1kHz系と48kHz系の内蔵クロック
および 10MHz外部クロック入力

USB DACはアシンクロナス（非同期）転送方式を採用。本体内部に44.1kHz系と48kHz系の2種類の専用クロックを搭載。低位相ノイズ型のオーディオグレード高精度水晶発振器を、それぞれ整数倍の入力信号に対して適用することで、音質に与えるジッターの影響を大幅に抑えます。(USB入力時のみ) さらに、10MHz外部クロックの入力も可能で、より高精度なマスタークロック信号と同期可能です。

カスタムチップによるDSDアップコンバート機能

デジタルオーディオ信号を滑らかに補完するフルエンシーアルゴリズムを用いた独自設計のFPGA（プログラマブルIC）により、PCMデジタル信号を2倍、4倍、8倍へアップコンバートする機能に加え、DSDアップコンバートにも対応。DSDファイルが持つ濃密な空気感を、お手持ちのCDアーカイブでも簡単に体感できます。

		出力信号					
アップコンバート設定		オフ	2Fs	4Fs	8Fs	DSD	
入力信号	384kHz	384kHz	384kHz	384kHz	384kHz	12.2MHz	
	352.8kHz	352.8kHz	352.8kHz	352.8kHz	352.8kHz	11.2MHz	
	192kHz	192kHz	192kHz	192kHz	384kHz	12.2MHz	
	176.4kHz	176.4kHz	176.4kHz	176.4kHz	352.8kHz	11.2MHz	
	96kHz	96kHz	96kHz	192kHz	384kHz	12.2MHz	
	88.2kHz	88.2kHz	88.2kHz	176.4kHz	352.8kHz	11.2MHz	
	48kHz	48kHz	96kHz	192kHz	384kHz	12.2MHz	
	44.1kHz	44.1kHz	88.2kHz	176.4kHz	352.8kHz	11.2MHz	
入力信号	32kHz	32kHz	64kHz	128kHz	256kHz	8MHz	
	※384kHzおよび352.8kHzはUSB入力のみ対応						変換なし

4種類のPCMデジタルフィルターと2種類のDSDフィルター

ファイル形式だけでなく、音楽のタイプや好みに合わせて最適なフィルターを選択可能。それぞれのフィルターが持つ微妙な音のニュアンスの違いを楽しめます。

PCM	FIR SHARP	オーディオ帯域外の信号を急峻にカットするFIRフィルター
	FIR SLOW	オーディオ帯域外の信号を緩やかにカットするFIRフィルター
	SDLY SHARP	オーディオ帯域外の信号を急峻にカットするショートディレイフィルター
	SDLY SLOW	オーディオ帯域外の信号を緩やかにカットするショートディレイフィルター
DSD	CUTOFF 50kHz	50kHzでカットするフィルター
	CUTOFF 150kHz	150kHzでカットするフィルター

デジタル部とアナログ部のグラウンドを完全分離した回路

デジタルアイソレーターによってデジタル部とアナログ部の電源およびグラウンド双方を完全に絶縁。デジタル入力ソースに由来するノイズが電源やグラウンドを伝ってアナログ部に侵入することを防ぎます。

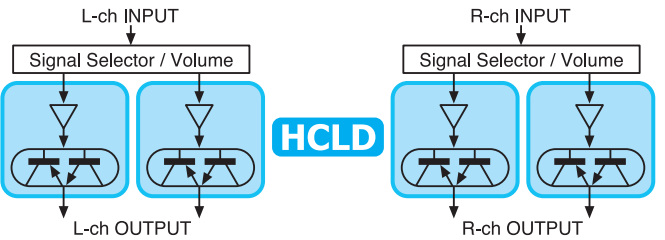
左右独立した大容量トroidalコア電源トランス

安定した電流を供給する大容量トroidalコア電源トランスを左右各チャンネル専用に1基ずつ搭載。ここでもデュアルモノーラル設計が貫かれており、それぞれのチャンネルが安定した信号処理を行います。



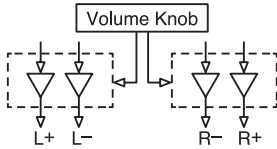
電流伝送強化型出力バッファ回路『TEAC HCLD回路』

音楽信号に含まれる広大なダイナミックレンジを損なうことなく出力装置まで伝えるため、アナログ出力回路にとって重要な電流伝送能力を高めるTEAC HCLD (High Current Line Driver) 回路を搭載。左右チャンネルに2回路、合計4回路をバランス出力の場合はディファレンシャルでアンバランス出力の場合はパラレルで駆動します。TEAC HCLD回路は音楽信号が持つダイナミズムを余さずに伝えます。



4回路構成の高精度ボリューム『TEAC QVCS』プリアンプ回路

アナログ変換されたオーディオ信号を、ボリュームアンプ部に至るまで全段バランス処理が行われるフルバランス設計のTEAC QVCS (Quad Volume Control System) を採用。ボリューム調整は左右チャンネル、さらに正負ごとに独立した4回路の可変ゲインアンプ型ボリュームを一括連動する設計で、無用な信号の引き回しがなく、オーディオ信号の左右・正負の独立が保たれ、チャンネルセレーションに優れたクリアな音質を獲得しています。さらに、全帯域で0.5dBずつ合計256ステップの細かいボリューム調整が可能。また、ボリューム可変/固定選択式のXLRバランス出力とRCAアンバランス出力を備え、プリアンプとしても性能を発揮します。



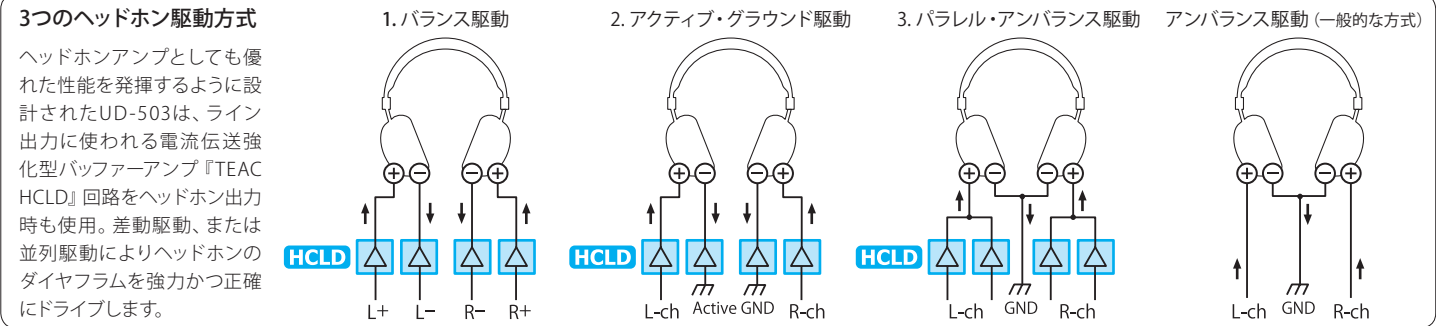
有機EL採用の視認性の高いボリューム表示

4段階ディマーを備えた表示部にはコントラスト比が高く見やすい有機EL表示を採用。離れたリスニングポジションからもボリューム値が確認できるよう、大きなフォントを採用しました。



バランス駆動ヘッドホンに対応し、A級動作領域を拡大したディスクリート構成のヘッドホンアンプ

A級動作領域を拡大させたディスクリート構成のAB級アンプにより、通常のヘッドホン・リスニングで使用するほとんどの領域をA級動作でカバー。さらに、TEAC HCLD回路をヘッドホン出力にも使うことで、バランス駆動型のヘッドホンを接続可能。通常の差動駆動によるバランス駆動に加え、無音時における静寂性の向上や繊細な音の表現に有効なアクティブ・グラウンド駆動にも対応しています。一方、アンバランス・ヘッドホン接続時は左右に2基ずつ搭載されたアンプを並列に駆動させることで、力強い表現が可能なパラレル・アンバランス駆動方式を採用。2基あるステレオヘッドホン端子は同時に2台のアンバランス・ヘッドホンをつないで楽しむこともでき、ヘッドホンリスニングの楽しみを一層広がります。



新しいヘッドホン駆動方式の提案、アクティブ・グラウンド駆動

バランス接続の原理でCOLD側をグラウンドに接続することで、アンプ回路によって強制的にグラウンドをドライブして0Vに近づけるアクティブ・グラウンド駆動を採用。通常のグラウンドに落とすよりも理想的なグラウンドを得られるだけでなく、電源に由来するハムノイズの影響を抑える効果があり、ノイズフロアが下がり静粛性が増すため、アーティストの息遣いや音のテクスチャーをより間近に感じることができます。

制振性の高いフルメタル筐体、机に設置できるA4サイズ

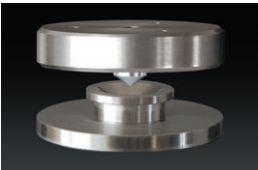
筐体の全てを外来ノイズに強い金属パネルで構成することで、パソコンなどから発せられる電磁ノイズの侵入を抑え、オーディオ機器にとって厳しい環境下でもクリーンな内部環境を実現。金属シャーシをさらに両サイドから包み込む8mm厚のアルミパネルにより、ねじれを防いで強固で安定した筐体を実現しました。また、A4サイズ（端子部などの突起部は除く）の筐体は机の上やサイドボードなど、わずかなスペースにも設置可能です。

シンメトリーに配置されたXLR出力およびRCA入出力端子

リア側の出力端子は金メッキ処理されたXLR端子によるバランス出力のほか、RCAピン端子によるアンバランス出力を最短の信号経路になるようシンメトリーに配置。大径のシェルを持つピンプラグも接続できるよう左右の端子のピッチを広く取るなど、ハイエンド機との接続も考慮した設計です。デジタル入力にはリア側3系統（USB、同軸、光）に加え、フロント側に3.5mmミニ端子による同軸/光兼用端子を装備。TEAC HA-P90SDなどのデジタル出力が可能なポータブルプレーヤーと接続することができます。（同軸RCAプラグ-同軸ミニプラグ変換ケーブル付属）

高音質が際立つ3点支持ピンポイントフット採用

床面のわずかな歪みにも影響されず、安定した接地を可能にする3点式を採用。ピンポイントの3点で本体を支えることにより振動や共振を減少させ、中低域のコモリや濁りを排除し、音の輪郭を際立たせる分解能と音像定位の向上を実現します。各脚部にはスパイク形状を持つフット本体とすり鉢状のフットベースが一体化したオリジナル構造（特許取得済）を採用。本体を持ち上げてもフットベースが外れることがなく、接地時にはスパイク先端部とすり鉢の最深部の1点のみが接する構造で、オーディオ用の脚としては理想的と言われるものの設置時の位置決めが非常に困難だったピンポイント方式による設置を簡単に行えます。



DSD 11.2MHz再生に対応したパソコン用ソフト

DSD 11.2MHzファイルを難しい設定を行うことなくWindows、Macintoshどちらからでも再生できるソフトを無償提供。次世代のハイレゾ音源を簡単に楽しむことができます。（Windowsの場合は、別途ドライバーのインストールが必要です。）